

田んぼの学校（草取り・生き物調査）



柏崎周辺農業水利事業所 調査設計課 佐藤直樹

田んぼの学校（第2回）

梅雨時とは思えない好天に恵まれた6月20日（土）、柏崎市女谷地区で田んぼの学校が開催されました。今回は、1ヶ月前に植え付けた田んぼの草取りと、湿地・小川の生き物観察です。ブト（ブユ）に刺されないよう虫除けスプレーをかけ合い、匂いを漂わせての出発です。



● 1 時限目：田んぼの草取り

田んぼの草取りは、はじめに農家の方から稲とヒエの見分け方を教えてもらい、親子連れなど約 20 人が1時間にわたって、賑やかに作業を行いました。



まずは農家の方のお手本



一列になって草取り開始！



パパ頑張って！！



こ、腰が...

● 2 時限目：生き物調査

草取りの後、近くの湿地と小川に移り、生き物観察を始めました。手で触ってはいけない昆虫など注意事項を教えてもらい、一斉にタモ網を使って生き物を探しました。おたまじゃくしを捕獲する小学生や、深みで希少種を探す元少年・少女など、参加者全員で調査を行いました。ヤゴや小さな虫を捕まえては、柏崎市立博物館の学芸員に「これは何の幼虫？」と聞く子どもたちの声でいっぱいとなりました。また、学芸員も同定が難しい昆虫も見つかり、収穫の多い生き物調査となりました。



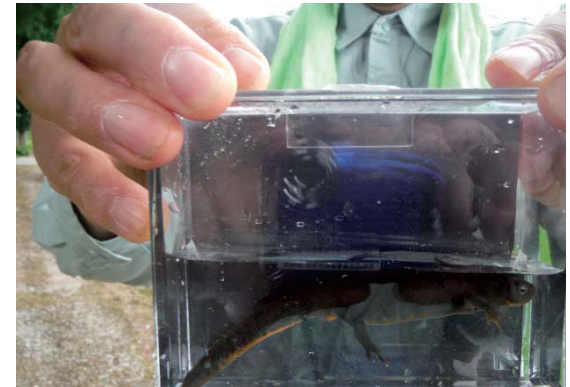
あそこ何かいるよ



大物を捕まえるぞー！



先生、これなあに？



イモリ「見つかってしまったー」

次回

次回の田んぼの学校は、10月3日（土）に念願の稲刈りとイモ掘りが予定されています。自分たちで植えた稲やイモが立派に実るのを心待ちにしながら、おなかを空かせて待つことにしましょう。